

まちづくり交付金 事後評価シート
善光寺表参道地区

平成22年3月

長野県長野市

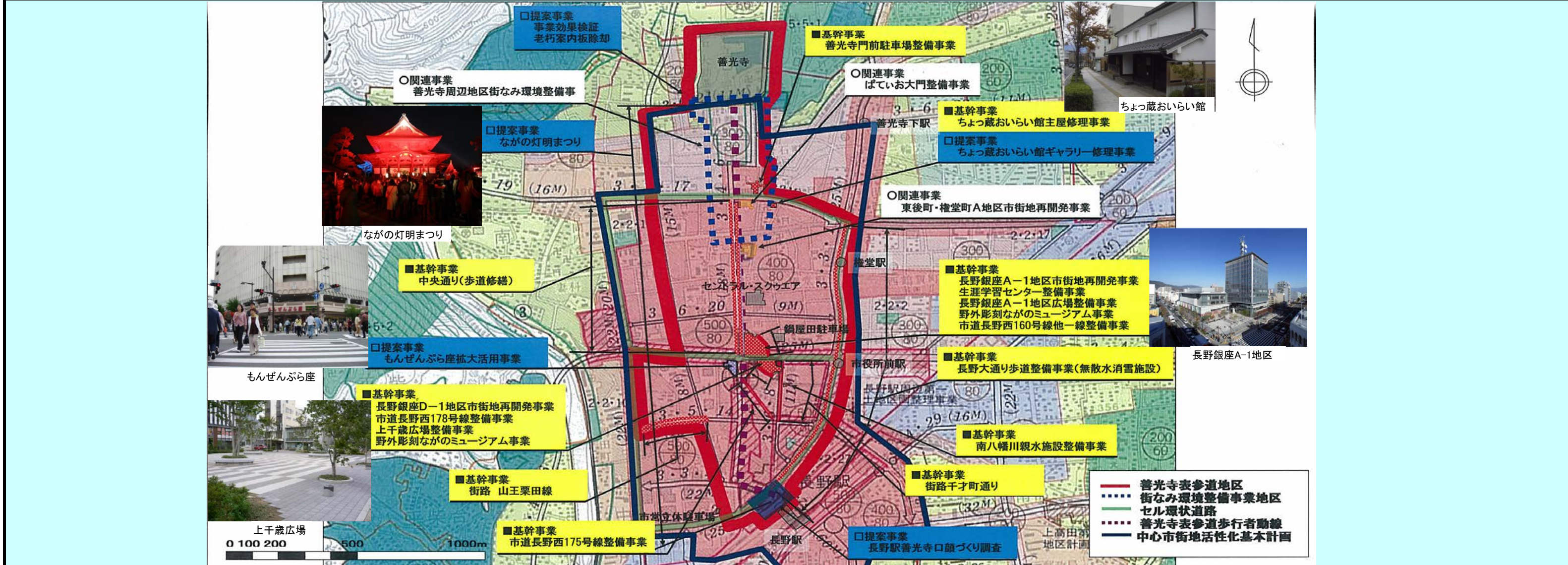
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	長野市		地区名	善光寺表参道地区			面積	123ha		
交付期間	平成17年度～21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	4,652.9百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(中央通り(歩道修繕)、市道長野西160号線他一線、市道長野西178号線)、地域生活基盤施設(南八幡川親水施設、善光寺門前駐車場、長野銀座A-1地区広場)、高質空間形成施設(長野大通り、野外彫刻ながのミュージアム)、高次都市施設(生涯学習センター)、市街地再開発事業(長野銀座A-1地区、長野銀座D-1地区)										
		提案事業	まちづくり活動推進事業(中央通りトランジットモール社会実験、長野灯明まつり)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	まちづくり活動推進事業(中央通りトランジットモール社会実験)			中央通り(歩行者優先道路化)の事業未実施による事業効果の未発現							
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道長野西175号線、千才町通り、山王栗田線)、地域生活基盤施設(上千歳広場)、既存建造物活用事業(ちよっ蔵おいらい館主屋)			道路:歩行者回遊性の向上と賑わい形成 地域生活基盤施設:地区の景観形成と憩いの場の提供 既存建造物活用事業:市民や観光客の交流拠点			一部の指標に関係するが、数値目標は据え置き				
		提案事業	地域創造支援事業(もんぜんぷら座拡大活用、ちよっ蔵おいらい館ギャラリー修理、長野駅善光寺口顔づくり調査、老朽案内板除却)、事業活用調査(事業効果検証)			地域創造支援事業:賑わいと市民交流の拡充 事業活用調査:今後のまちづくり方策策定の基礎資料			一部の指標に関係するが、数値目標は据え置き				
交付期間の変更	当初	平成17年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	歩行者・自転車数(大門町周辺)	人/12時	12,899	H16	12,000	H21	モニタリング	評価値	○	ありなし	拠点施設等の整備や灯明まつりへの支援等総合的な取り組みが奏功した。	
	指標2	歩行者・自転車数(新田町周辺)	人/12時	22,221	H16	22,000	H21	22,623	26,532	○	ありなし	再開発事業等集中的な施設整備を実施した結果、地区の集客力が向上した。	
	指標3	TMO施設売上金額	千円/年	490,849	H15	495,000	H21	498,066	583,064	○	ありなし	周辺での施設整備や環境整備により、来街者が増加し、売上の向上につながった。	平成22年4月頃
	指標4	表参道沿線空き店舗率	%	7.4	H16	5.9	H21	6.3	5.7	○	ありなし	各種事業により、まちなかの賑わいが再生され、新規出店が促された。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 本計画の実施を通して、まちづくりに対する意識が高揚し、住民と行政の協働によるまちづくり活動が積極的に行われるようになった。 歩行者の多くが善光寺を目的として通りを通過していたが、本計画による表参道沿線の拠点施設整備、空き店舗の減少等の結果、ゆっくり歩いて観光する姿を見かけるようになった。 「ながのまちづくりカフェ」、「フェスタもんぷら」等の市民活動が活発に行われるようになり、新たなまちの魅力の形成につながっている。 民間事業として、市民等からの寄付を財源とする春日灯籠が善光寺表参道に復元建立され、門前都市としてのイメージアップに寄与している。 第2回まち交大賞(創意工夫大賞)の受賞により、まちづくりのモデル事例として全国に紹介されたことから、知名度がアップし、報道等にも積極的に取り上げられるようになった。 												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等								
	モニタリング	所定のモニタリングシートによるモニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●	計画期間終了後においても、モニタリングの手法を用いて定期的に継続事業の進捗状況を確認する。			
	住民参加プロセス	表参道ふれ愛通り推進委員会による勉強会、ワークショップ	都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●	当委員会と協働し、中央通り歩行者優先道路化事業を推進する。			
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

善光寺表参道地区(長野県長野市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
善光寺表参道を主軸とする門前の中心市街地への交通アクセスの向上及び計画地区内の再開発等事業や歴史・文化的資源との連携により、善光寺表参道を軸とした回遊性の向上と賑わいを誘導する。	歩行者・自転車数(大門町周辺)	単位:人/12時	12,899 H16	12,000 H21	12,017 H21
	歩行者・自転車数(新田町周辺)	単位:人/12時	22,221 H16	22,000 H21	26,532 H21
	TMO施設売上金額	単位:千円/年	490,849 H15	495,000 H21	583,064 H21
	表参道沿線空き店舗率	単位:%	7.4 H16	5.9 H21	5.7 H21



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 善光寺門前駐車場の整備により、観光客の一部を市街地(門前)側に誘導したため、大門町周辺の歩行者数の減少傾向が改善した。 都市再生整備計画に掲載された拠点施設整備事業は、概ね完了し、各々まちの賑わい再生に貢献している。 拠点施設を結節する道路や沿線での環境整備が実施されたことにより、歩行者の回遊性が向上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 的確な駐車場情報を提供することにより、市街地での車両混雑の緩和及び来街者の利便性向上を図る。 駐車場事業者や商店街と連携した共通駐車券事業を推進する。 長野(門前町)らしい風情を活かした街なみ空間を創出する。 歩行者用案内標識の内容を検討し、まちなか観光と市民の利便性向上を図る。 引き続き拠点施設を結節する安全快適な歩行者空間の整備を進める。 拠点施設の賑わいを地区全体に広げていくため、地域や民間のまちづくり活動に対する支援を強化する。